

# 令和4年度 決算報告

令和4年度、村の決算が鳴沢村議会第3回定例会（9月議会）において認定されました。

一般会計の歳入総額（1年間に村へ入ってきたお金）24億6,579万4千円から歳出総額（1年間に村が使ったお金）22億7,277万1千円を差し引いた形式

収支は1億9,302万3千円の黒字となりました。この中には令和5年度で使う事業の財源となる2,945万8千円（翌年度繰越財源）が含まれているため、これを除いた1億6,356万5千円が実質的な黒字額となります。

一般会計  
歳入

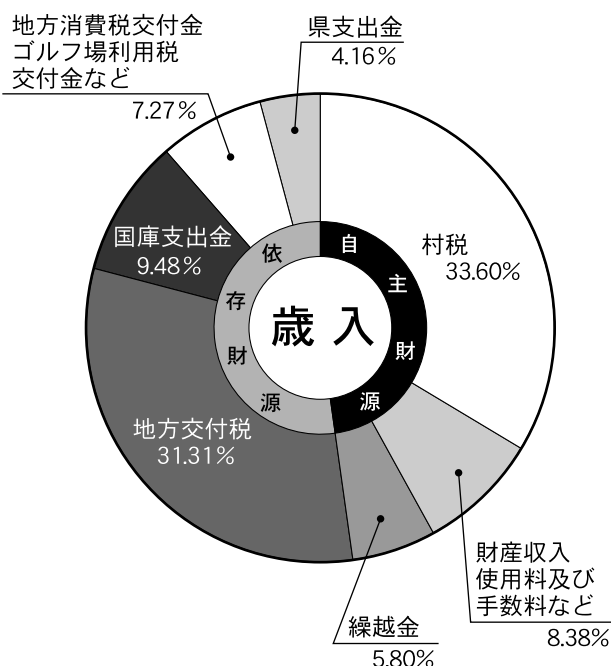
## 24億6,579万4千円

### 歳入内訳

	項目	決算額
自主財源 47.78%	村税	8億2,846万3千円
	繰入金	1,258万5千円
	繰越金	1億4,296万3千円
	財産収入	6,807万5千円
	使用料及び手数料	2,659万円
	分担金及び負担金	2,156万8千円
	諸収入	2,443万8千円
	寄附金	5,338万7千円
	依存財源 52.22%	地方交付税
国庫支出金		2億3,363万7千円
県支出金		1億264万5千円
地方消費税交付金		8,141万8千円
ゴルフ場利用税交付金		4,503万1千円
地方譲与税		3,019万3千円
地方特例交付金		254万6千円
配当割交付金		214万1千円
株式等譲渡所得割交付金		187万1千円
自動車税環境性能割交付金		322万2千円
交通安全対策特別交付金		52万7千円
利子割交付金		17万2千円
法人事業税交付金		941万2千円
地方債		280万円
歳入合計		24億6,579万4千円

### 村税内訳

項目	決算額
個人村民税	1億8,222万9千円
法人村民税	5,035万9千円
固定資産税	5億1,603万6千円
軽自動車税	1,545万円
村たばこ税	3,042万4千円
入湯税	3,396万5千円
村税合計	8億2,846万3千円



歳入総額は、前年度より8,273万5千円(△3.2%)減の24億6,579万4千円となりました。

自主財源は、コロナ禍により落ち込んでいた税収が復調の兆しが見え始めたことから、2,837万4千円の増加、活き活き広場遊具新設工事の財源となった環境保全支援事業寄附金2,000万円の増加などにより、前年度と比較して2,397万8千円の増額となりました。

依存財源は、地方交付税が225万1千円の減少、固定資産税軽減措置に対する固定資産税減収補填特別交付金の皆減に伴い、地方特例交付金が2,907万9千円の減少、新型コロナウイルス感染症に伴う緊急経済対策などの国庫支出金8,717万3千円の減少などにより、前年度と比較して1億671万3千円の減額となりました。

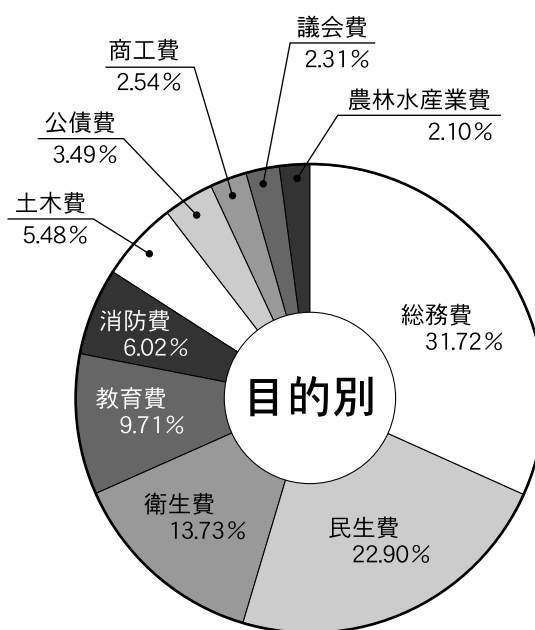
一般会計  
歳出

22億7,277万1千円

## 目的別経費

## 目的別歳出内訳

項目	決算額
総務費	7億2,086万4千円
民生費	5億2,053万4千円
衛生費	3億1,209万5千円
教育費	2億2,058万7千円
消防費	1億3,689万4千円
土木費	1億2,448万9千円
公債費	7,943万2千円
商工費	5,761万4千円
議会費	5,252万1千円
農林水産業費	4,774万1千円
歳出合計	22億7,277万1千円



歳出総額は、前年度より1億3,279万5千円(△5.5%)減の22億7,277万1千円となりました。

変動が大きい項目として、衛生費、消防費、教育費、土木費、商工費は増加しましたが、総務費、民生費は減少しました。

主な変動要因として増加した項目では、衛生費は簡易水道事業特別会計への繰出金の増などにより、前年度比4,509万9千円(16.9%)の増額となりました。消防費は、富士五湖広域行政事務組合への負担金が増えたことにより、前年度比3,005万2千円(28.1%)の増額となりました。教育費は、コロナ禍により中止としていたロードレース大会の実施や春日神社補修工事に補助金を交付したこと

により、前年度比2,899万5千円(15.1%)の増額となりました。土木費は、生き生き広場へ遊具の新設工事を行ったことなどから、前年度比1,972万4千円(18.8%)の増額となりました。商工費は、やまなしスポーツ・文化合宿等再開支援助成金の皆増などにより、前年度比1,048万7千円(22.3%)の増額となりました。

一方、減少した項目では、総務費は、公共施設建設基金への積立金の減などにより、前年度比2億4,070万1千円(△25.0%)の減額となりました。民生費は、住民税非課税世帯等に対する臨時特別給付金支給事業の減などにより、前年度比2,793万3千円(△5.1%)の減額となりました。

# 一般会計の1人あたりの主な使いみち

人口 3,096人(令和5年3月31日現在)

## 1人あたり合計 73万4,099円

### 総務費

1人あたり 232,837円

総務管理のほか、税務・企画・戸籍・選挙・統計・交通安全・基金への積立などに使われました。

#### 【主な事業】

電子自治体整備・運用事業	4,420万円
鳴沢いきやりの湯運営事業	3,797万5千円
共通電算機整備・管理事業	3,580万1千円

### 民生費

1人あたり 168,131円

安定した社会保障を行うため、福祉・各種手当・保育所運営などに使われました。

#### 【主な事業】

自立支援給付助成事業	8,721万5千円
保育所運営事業	5,675万5千円
児童手当支給事業	3,901万5千円

### 衛生費

1人あたり 100,806円

生活環境の整備、新型コロナウイルスワクチン予防接種、健康づくり事業、住民健診などに使われました。

#### 【主な事業】

ごみのないまちづくり推進事業	7,487万5千円
感染症予防事業	5,995万8千円
環境整備事業	1,652万7千円

### 教育費

1人あたり 71,249円

教育委員会、小学校、中学校、社会教育、社会体育に使われました。

#### 【主な事業】

中学校管理運営費	4,208万2千円
小学校教育振興費	2,963万1千円
学校給食運営事業	2,848万円

### 消防費

1人あたり 44,217円

消防施設の維持整備や常備消防運営費・防災対策等に使われました。

#### 【主な事業】

広域行政事務組合消防本部運営事業	1億1,111万8千円
防災対策事業	1,010万8千円
消防施設等整備・管理事業	794万4千円

### 土木費

1人あたり 40,210円

村道の改良・維持管理や生活基盤の整備に使われました。

#### 【主な事業】

村道改良事業	4,263万6千円
村道維持補修事業	1,201万7千円
村道除雪事業	721万9千円

### 公債費

1人あたり 25,656円

公共施設整備などのために過年に借り入れた起債の償還に使われました。

### 議会費

1人あたり 16,964円

議員報酬や議会活動に使われました。

### 商工費

1人あたり 18,609円

商工・観光振興に使われました。

#### 【主な事業】

商工観光地方創生事業	3,943万円
観光振興事業	837万1千円
商工振興事業	114万4千円

### 農林水産業費

1人あたり 15,420円

農業委員会・農林業振興に使われました。

#### 【主な事業】

有害鳥獣対策事業	710万3千円
県有地転貸事業	693万2千円
農業委員会運営諸費	444万7千円

## 性質別経費

性質別としての分類経費においては、義務的経費、投資的経費、その他の経費ともに減少しました。主な変動要因として義務的経費では、主に扶助費の減による影響が大きく、子育て世帯への臨時特別給付金支給事業や住民税非課税世帯等に対する臨時特別給付金支給事業の減等により前年度と比較して5,500万2千円(△22.2%)の減額となりました。義務的経費全体で、前年度と比較して、4,985万円(△6.2%)の減額となりました。

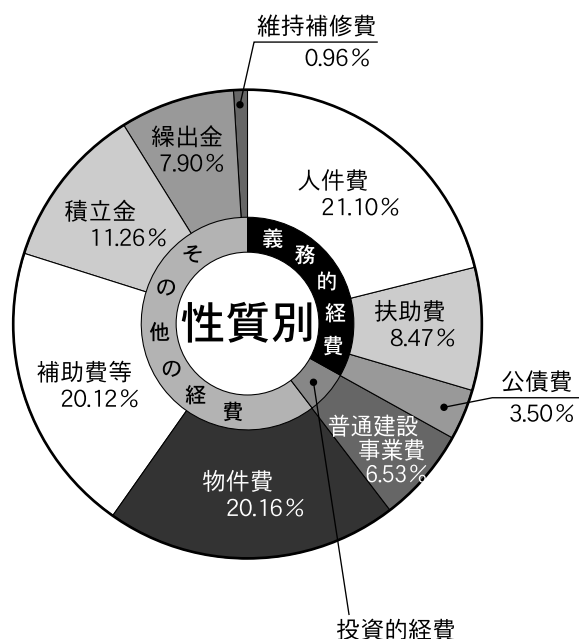
投資的経費については、単独事業費において、道の駅なるさわ浄化槽改修工事(補助対象外工事分)の減等により、前年度と比較して、2,998万3千円(△

17.8%)の減額となり、補助事業費においても、社会资本整備総合交付金を活用した道の駅なるさわ浄化槽改修工事の減等に伴い、前年度と比較して3,840万円4千円(△79.8%)の減額となりました。投資的経費全体で前年度と比較して、6,838万7千円(△31.5%)の減額となりました。

その他の経費では、積立金の減少が大きく、主に公共施設建設基金への積立ての減によるもので、前年度と比較して、2億75万5千円(△44.0%)の減額となりました。その他の経費全体では、前年度と比較して、1,455万8千円(△1.0%)の減額となりました。

### 性質別歳出内訳

項 目		決 算 額
義務的経費 33.07%		7億5,152万2千円
人 件 費		4億7,948万4千円
扶 助 費		1億9,260万6千円
公 債 費		7,943万2千円
投資的経費 6.53%		1億4,839万3千円
普通建設 事業費	単独事業費	1億3,865万7千円
	補助事業費	973万6千円
その他の経費 60.40%		13億7,285万6千円
物 件 費		4億5,826万7千円
積 立 金		2億5,598万9千円
補 助 費 等		4億5,730万1千円
繰 出 金		1億7,960万5千円
維 持 補 修 費		2,169万4千円
歳出合計		22億7,277万1千円



### 令和4年度 特別会計決算収支の状況

会 計 名	歳入決算額 A	歳出決算額 B	形式収支 C(A-B)	翌年度繰越財源 D	実質収支 E(C-D)
国民健康保険	4億2,516万5千円	4億1,110万2千円	1,406万3千円		1,406万3千円
簡易水道事業	1億2,351万7千円	1億2,257万円	94万7千円		94万7千円
介護保険	3億2,922万2千円	2億7,453万9千円	5,468万3千円		5,468万3千円
介護予防支援事業	69万8千円	69万8千円			
後期高齢者医療	5,430万5千円	5,430万5千円			
合 計	9億3,290万7千円	8億6,321万4千円	6,969万3千円		6,969万3千円

(合計金額に合わせるため、計算過程で端数調整を一部してあります)

## 基金の状況 (預金残高)

基金名	令和3年度末 現在高	令和4年度増減額		令和4年度末 現在高
		積立	取崩	
財政調整基金	11億8,944万8千円	43万7千円		11億8,988万5千円
村債管理基金	6,093万円	1千円		6,093万円1千円
公共施設建設基金	19億5,289万5千円	1億9,227万5千円		21億4,517万円
ふるさと創生基金	7,825万9千円	1千円		7,826万1千円
国際交流基金	1億25万2千円	5千円		1億25万7千円
地域福祉基金	1億4,077万5千円	17万1千円		1億4,094万5千円
ふるさと応援寄附基金	7,005万7千円	3,160万1千円	1,258万5千円	8,907万3千円
公共施設修繕基金	2億6,395万7千円	2,704万8千円		2億9,100万5千円
土地開発基金	1,911万3千円	9千円		1,912万2千円
森林環境増与税基金	894万6千円	445万円		1,339万6千円
	38億8,463万2千円	2億5,599万8千円	1,258万5千円	41億2,804万5千円
特別会計	国民健康保険運営調整基金	1億2,820万7千円	1,002万5千円	1億3,823万2千円
	介護保険給付費支払準備基金	6,023万8千円	1万2千円	6,025万円
	簡易水道運営調整基金	2,426万2千円	1万3千円	2,427万5千円
		2億1,270万7千円	1,005万円	2億2,275万7千円
合計	40億9,733万9千円	2億6,604万8千円	1,258万5千円	43億5,080万2千円

(合計金額に合わせるため、計算過程で端数調整を一部してあります)

## 公債費の状況 (借入金残高)

(令和4年度末現在)

会計名	令和3年度末 未償還額 A	令和4年度償還額		令和4年度 (新規)借入額 D	令和4年度末 未償還額 E(A-B+D)
		元金B	利子C		
一般会計	2億2,420万3千円	7,865万9千円	77万3千円	280万円	1億4,834万4千円
合計	2億2,420万3千円	7,865万9千円	77万3千円	280万円	1億4,834万4千円

(合計金額に合わせるため、計算過程で端数調整を一部してあります)

# 財政健全化判断比率はすべてクリア

財政健全化判断比率は、財政健全化法において地方公共団体の財政状況を客観的に表し、財政の早期健全化や再生の必要性を判断するためのものとして、4つの財政指標(実質赤字比率・連結実質赤字比率・実質公債費比率・将来負担比率)からなります。鳴沢村の算定結果は、実質公債費比率が△2.2%となっており、前年度から増減はありませんでした。他は、数値がマイナスとなるため「数値なし」となります。(括弧内が実数値となります。)これにより、下記に示された早期健全化基準内であるため、健全化比率はすべてクリアされています。特に実質公債費比率は過年に借り入れた地方債が少額なため、県下で2番目に良好で、全国でも上位の数値となっています。(数値は低いほど良好)

なお、簡易水道事業特別会計に係る資金不足比率についても、赤字がないため、数値自体がありません。

### ■健全化判断比率 算定結果

指標名	算定結果	早期健全化基準 (イエロカード)	財政再生基準 (レッドカード)
実質赤字比率	数値なし(△9.86%)	15.00%	20.00%
連結実質赤字比率	数値なし(△14.06%)	20.00%	30.00%
実質公債費比率	△2.2%	25.00%	35.00%
将来負担比率	数値なし(△341.3%)	350.00%	

### ■資金不足比率 算定結果

特別会計名	算定結果
簡易水道事業特別会計	数値なし

※実質公債費比率以外は、0%以下の場合、数値としては算定されません。(資金不足比率以外は参考として、実数値を記載してあります。)